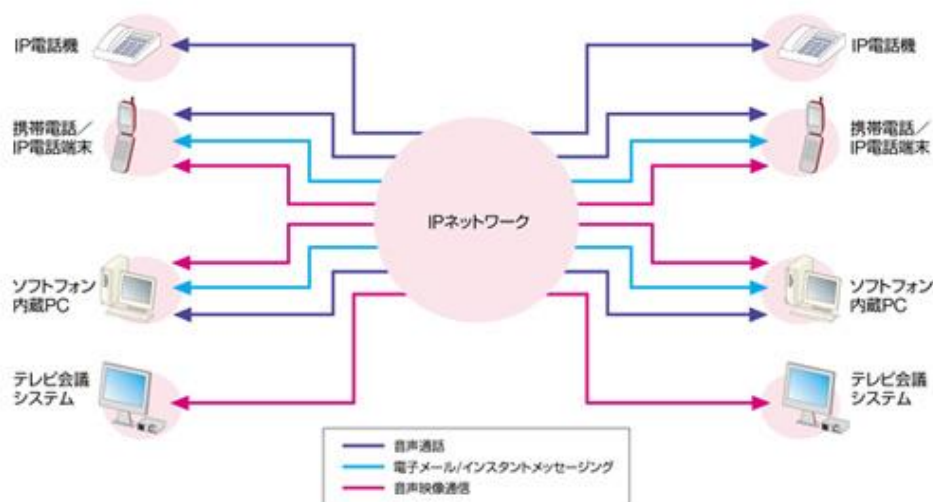


電子技術キーワード解説

知っておきたい最新の動き

[ユニファイド・コミュニケーション]

ユニファイド・コミュニケーションとは、「電話、メール、インスタント・メッセージ（IM）、ビデオ会議、Web 会議といった複数のコミュニケーション手段を IP により融合させたシステム」のことです。これにより、一つのアプリケーション画面上で、電話の発着信やボイス・メールの再生、電子メールやインスタント・メッセージの処理、テレビ会議への参加など、一連の操作を可能とします。そのときどきで、最適なコミュニケーション手段を選択できるのがポイントとなります。企業におけるワークスタイルの変革を促し、業務の効率化や生産性の向上などさまざまな恩恵をもたらすことが期待されます。



現在、企業・組織において利用されているユニファイド・コミュニケーションの実用例には、次のようなものがあります。

(1) VoIP（音声通信＋データ通信）

例えば、複数人間が、PC 上の画面データを共有した上で、音声でリアルタイムの意見交換、協議ができるシステムです。筆者が籍を置いていた会社では、ほぼ全員に本システムが設置されており、遠距離での会議や打ち合わせを本システムで行っていました。

(2) VoWLAN（VoIP over Wireless LAN）（無線通信＋音声通信＋データ通信）

最近、導入が進みつつあるのが、無線 LAN 上で統合された音声／データ通信を実現するものです。IP 携帯端末や SIP サーバといった IP 電話システムのほか、無線 LAN アクセスポイントとそれを集中管理する無線 LAN スイッチなどから構成されます。

VoWLAN に注目が集まる契機となったのは、携帯電話と Wi-Fi による無線 LAN の両通信に対応した「デュアル端末」が登場したことです。デュアル端末を用いることで、社内では無線 LAN による VoIP 通信が、外出先では携帯電話事業者網を利用した携帯電話による通話が可能となります。

(3) ビデオ会議（音声／映像通信＋データ通信）

国内外の各拠点間でリアルタイムに会議を可能とするシステムです。単に音声／映像を融合させた会議を行うだけでなく、Word などで作成した資料を送受信したり、Power Point による資料を会議参加者の

各画面で表示したりしながらプレゼンテーションを行うなど、アプリケーションとの関係も実現されています。

このように、ユニファイド・コミュニケーションを実現する製品は機能強化が進んでおり、より高品質かつ柔軟なコミュニケーションが可能となっています。ワークスタイルを変革させ、企業の競争力向上を実現する手段の1つとして、ユニファイド・コミュニケーションは、今後、さらに存在感を増していきそうです。

(<http://www.networkworld.jp/interop/article/uni/>を参考、および図を引用など)

Copyright (C) Satoru Haga 2008, All right reserved.

| | |
|-----------------------------|--|
| 技術・経営の戦略研究・トータルサポーター | 工学博士 中小企業診断士 社会保険労務士(登録予定) |
| ティー・エム研究所 | 代表 芳賀 知 |
| E-Mail: GHH12525@nifty.com | URL: http://tm-lab.a.la9.jp/ |